

事前に出された意見と市の考え方

項目	委員	意見（そう考える理由等）①
富津市市立 保育所再配 置計画の改 定について	今井委員	<p>【改定趣旨について①】</p> <p>「現計画における取り組み内容と当該保護者が求める内容に乖離があった」とあるが、この説明に参加された保護者とは、全市立保育所在園の保護者であるのか。また、一部の保護者とすれば何名程度の保護者への説明であったのか。</p>
		<p>市の考え①</p>
		<p>現計画に基づき、再配置を進めるため、最初に金谷保育所の入所児童保護者との意見交換を行いました。参加した保護者数は7名です。その際に、小規模保育所の設置に係る考え方に乖離があることが分かりました。</p> <p>これをきっかけに、小規模保育所の設置について再度検討し、設置を見直す内容で全ての保育所において入所児童保護者への説明を行い、異論はなかったことから、今回、小規模保育所の設置について、見直すこととしました。</p>
		<p>意見（そう考える理由等）②</p>
		<p>【改定趣旨について②】</p> <p>「現計画における取り組み内容と当該保護者が求める内容に乖離があった」とあるが、この乖離とは、なにか。</p>

		市の考え②
		<p>現計画では、各地区に小規模保育所を設置し、そこで3歳未満児を保育し、3歳以上児はバス送迎により、通園する私立保育園等にて保育をすとしており、3歳未満児と3歳以上児とで保育の対応を分けるものとしています。</p> <p>しかし、保護者からの意見聴取において、3歳以上児・未満児の兄弟姉妹で保育の場所を分けることは考えておらず、小規模保育所の設置は望んでいないことが分かりました。</p> <p>現計画を改定する最初の要因となったものとして、小規模保育所の設置に係る考え方に乖離があったということでもあります。</p>
		意見（そう考える理由等）③
		<p>【課題について①】</p> <p>「入所児童数の減少による適切な保育環境の維持が見込まれない」の適切な保育環境とは、具体的には何を示すのか。また、1クラス5人程度入所児童数20人であれば適切な保育と判断する根拠は何か。</p>
		市の考え③
		<p>ご質問の「適切な保育環境」とは、各年齢の児童が一定数確保でき、日常的に児童同士の育ち合いができる保育環境のことをいいます。</p> <p>先述の一定数につきましては、児童福祉法におきまして、「保育所」を利用定員が20人以上の施設としていることをベースに保育所職員とも意見交換し、入所児童数20人程度、3歳以上児については1クラス5人程度の規模が確保できれば、児童同士の育ち合いができる保育環境を整えられると判断したことから、最低基準として定めたところであります。</p>

		意見（そう考える理由等）④
		<p>【課題について②】</p> <p>「保育士確保が困難なことから適切な保育環境の維持が見込まれない」とは具体的にどのようなことか。</p>
		市の考え④
		<p>保育士確保が困難なことにより、特に3歳未満児について、定員までの受入れが困難となるなど、一定規模の児童数を確保できないことや、保育士の勤務体制として、通常保育（8時30分から16時30分まで）以外にも、7時30分（早番）から勤務する保育士や、18時30分（遅番・中央保育所は19時まで）まで勤務する保育士が必要であり、保育士数が限られるとシフトが過密となることから、労働環境の悪化を招き、保育士自身が余裕を持って保育に従事できず、保育に影響が出ることなどが挙げられます。</p>
		意見（そう考える理由等）⑤
		<p>【課題について③】</p> <p>児童数の減少により、今後、民間の私立保育園や幼稚園、認定こども園についても同様の課題を抱え、運営が困難となってくことが明らかである。このことについて市はどのように考えているのか。</p> <p>※官民連携の施策など先進的に進めることはできないのか。</p>

		市の考え⑤
		<p>ご意見のとおり、今後、民間の教育・保育施設におきましても、同様の状況になることが見込まれます。今回、市立保育所における喫緊の課題を解決するため、再配置を進める計画を策定するところですが、市として市域全体における教育・保育環境のあり方について検討していく必要はあると考えています。現状、具体的な考えを示すことはできませんが、今後の課題であると認識しています。</p> <p>本件につきましては、今後、本会議におきまして、議論し、ご意見等をいただきながら取り組んでいくものと考えておりますので、引き続きよろしく願いいたします。</p>
	齋藤委員	意見（そう考える理由等）⑥
		<p>再配置計画(素案)の内容から外れてしまいますが、保育士養成施設卒業者の約半数は保育施設に就職していない・保育士資格保有者の約6割が職に就いていないとの記載がありましたが、その理由や詳細がわかりましたら知りたいです。自分も子供を保育所に預けてみて、保育士さんは大変なお仕事だと日々感じております。また子育てしながら働くことの大変さも身にしみてわかるので、子育てしながら働きやすい環境作りや保育士さんのニーズも取り入れた働き方改革をしてほしいなと感じました。</p>
		市の考え⑥
		<p>保育士資格保有者の保育施設への就職等の割合が低い理由につきまして、厚生労働省の調べによりますと、「賃金が希望と合わない」、「他職種への興味」、「責任の重さ・事故への不安」、「自身の健康・体力への不安」等が挙げられています。</p> <p>このような状況の中、現在、市では清和大学短期大学部主催の就職説明会への参加や実習生の積極的な</p>

	<p>受入れのほか、本年度から「富津市保育士養成修学資金貸付制度」を創設し、修学資金の貸付けを行うとともに、指定保育士養成施設を卒業後、市内の保育施設に5年以上勤務した場合は、返還を免除するなど、保育士確保に向けた取組をしています。</p> <p>また、保育士が働きやすい環境の整備につきましても、保育士業務のICT化を図るため、市立保育所におきましては令和7年2月に保育ICTシステムを導入し、私立保育園に対しましてもICT化に係る補助を実施しています。このほか、市立保育所におきましては、保育所職員へのアンケートを実施するなどし、現在、休憩時間確保への取組を検討するなどしています。</p> <p>賃金につきましては、全国的な課題であることから、保育士の処遇改善について全国知事会からも国へ要望を出している状況であります。本市におきましては、限られた財源の中で対応していかなければならないのが現状であります。引き続き、国・県の補助制度を活用するなどし、処遇改善に努めてまいります。</p>
--	--